

## 現地機関の見直しイメージ

※ ABCDEF : 本庁の各所属

X,Y,Z局 : 総合現地機関

abcdg : 総合現地機関の各所属

e,f所 : 個別現地機関

類型		現行《均一型》		
イメージ	本庁	本庁 A B C D E		
	X地域	X局 a b c d	e所	f所
	Y地域	Y局 a b c d	e所	f所
	Z地域	Z局 a b c d	e所	f所
組織配置	総合	➢ 10の地域振興局でほぼ同様の配置		
	個別	➢ 4信・10広域を基本として配置（一部例外あり） ➢ 小規模な機関が県内各地に多数存在		
メリット		○ 地域差がなく公平感 ○ 各分野で県民等とのきめ細かな対話が可能		
デメリット		● 業務の性質や地域の実情に即した配置に課題 ● 小規模分散で専門性確保や職員の協力体制に課題		

見直し案《一部機能集約型》	
<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 広域的な調整や高度な専門性が求められる業務は一部の局に集約、定型的な共通業務は本庁等に集約</li> <li>➢ 見直しに当たっては各圏域における市町村規模等を考慮</li> <li>➢ 地域特性を考慮しつつ、小規模な機関を集約・統合</li> <li>➢ 4信・10広域以外の配置の機関を見直し</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の実情を反映した効果的・効率的な配置</li> <li>○ 分野によって、広域的な施策推進が可能になるとともに、機能集約による専門性向上に期待</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県民等とのきめ細かな対話に課題</li> </ul> <p>⇒ <u>オンライン窓口や担当職員の配置による対応を検討</u></p>	